

感染症情報

5月11日～17日(第20週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

新型コロナウイルス感染症

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★★★		1例ありました
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		しばらくありません
⑥	溶連菌感染症	★★★★	↓	減少傾向です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★		まれにみられます
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	ノロウイルスがみられます
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★★	↑	最近ありました
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★		まれにみられます
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★★★	↑	増加傾向です
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★		
⑱	新型コロナウイルス感染症	★		
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★★★★	→	小流行中です
⑳	その他のかぜ症候群	★★		

流行していた「インフルエンザ」は4月末頃からみられなくなりました。同様に「RSウイルス感染症」「新型コロナウイルス感染症」もみられていません。

現在流行しているのは「ヒトメタニューモウイルス感染症」です。それほど大きな流行ではありませんが、例年通り6月頃まで続くと思われる。特に乳幼児は注意が必要です。

他には「溶連菌感染症」「感染性胃腸炎」がみられますが、全体的に感染症は少なくなっています。

例年よりも遅いですが、そろそろ「手足口病」「ヘルパンギーナ」などの「夏かぜ症候群」の増加が予想されます。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある